

ガバナー月信

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2010-2011

6 vol.12



国際ロータリー第2660地区

2010～11年度ガバナー 松本 新太郎

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

## CONTENTS

ガバナー  
メッセージ 親睦活動月間にちなんで 1  
ガバナー 松本 新太郎

石巻災害ボランティア 7  
大阪御堂筋ローターアクトクラブ 岩津 賢典

2011-2012年度のための  
PETS&地区チーム研修セミナー 2  
次期地区代表幹事 境 高彦

中川章三パスト・ガバナーを偲んで 8  
大阪城南RC 光信 昌明

2010～2011年度 IM第7組報告 3  
大阪西南RC 会長 吉川 守  
IM実行委員会 委員長 小田 真弘

米山奨学委員会・ロータリー財団 9

2010～2011年度 IM第1組報告 4  
豊中～大阪国際空港RC 会長 上西 利三  
IM実行委員会 委員長 田中 竹二

2011年4月度 会員数・出席報告 10

ローターアクト  
「ええで、VIVA大阪 若者による日本文化シンポジウム」 5  
ローターアクト委員会 委員長 山内 康俊

文庫通信 11

2010～2011年度  
米山奨学生オリエンテーション報告 6  
米山奨学委員会 委員 米田 猛

お知らせ／敬弔 12



6月は親睦活動月間です。

「ロータリークラブについてもう一度考えてみませんか」と皆様に呼びかけてまいりましたが、今年度もいよいよ最後の月となりました。

この一年間のロータリーライフは、皆様にとってどのようなものだったでしょうか。事業や奉仕、親睦に大きな成果のある一年であったことを願います。そしてまた私の声に耳を傾けロータリークラブについてもう一度お考えいただくことができたならば、これほどうれしいことはありません。

ロータリークラブについて改めて考えていただく中では、周囲の方々ともいろいろと議論を交わされたかもしれません。ロータリーについて熱く語り合い、相互理解をいっそう深めていただく機会になったのであれば幸いです。むしろ意見が衝突し気まずい雰囲気になってしまったような方がおられないことを願います。大いに議論し合った後は主張の違いから相手を敬遠するのではなく、むしろロータリーを愛する心を互いに認め合うことでさらなる親睦へとつなげていただきたいと思います。

親睦に関して申しますと皆様はこの一年間、より多くの方と親交を深めていただくことができたでしょうか。そしてこれまで仲の良かった方々とも、いっそうの親睦を図ることができたでしょうか。年度の終わりにあたり、もう一度振り返ってみてください。そして次年度へ向け新たな親睦へとつなげていただければ、皆様のロータリーライフがますます有意義で充実したものとなることでしょう。

私もこの1年間、ガバナーとして数多くの方に出会い、親睦を深めさせていただくことができました。このことは私の人生の大きな宝物であると感じています。次年度以降は、この一年で手に入れた親睦の輪を途絶えさせることなく、大切に育んでいきたいと考えております。

いろいろあったかもしれませんが今年度の終わりにあたって再度親睦を確認し、みんな笑顔で締めくりたいものです。そしてその笑顔をそのままに、次年度も新しい顔ぶれ、新しい組織でロータリー活動に取り組んでいただければうれしい限りです。

# 2011-2012年度のための PETS&地区チーム研修セミナー

次期地区代表幹事

境

高彦

(大阪城南RC)

2011-2012年度のための会長エレクト研修セミナー(PETS)と地区チーム研修セミナーを3月19日(土)に大阪国際会議場で開催致しました。

従来は別日程で開催されていた2つのセミナーですが、前年度・前々年度に続いて3度目の同日開催に致しました。

午前中の全体会議では、岡部泰鑑GEが新年度のRIテーマ「こころの中を見つめよう 博愛をひろげるために」とともに地区の方針「見直しをすすめ 新たな第一歩を」を発表されました。

その後、米山委員会、ロータリー財団委員会、国際奉仕・WCS委員会、広報委員会より報告があり、予算についての説明がありました。

昼食の後、午後からはPETS・地区チームの2つの会場に分かれ、PETSでは井上暎夫PGが「会長の役割と責務」についての講演、岡部GEの「クラブ研修リーダーの必要性について」の講演と続き、その後IM別のディスカッションが行われました。

地区チームは神崎茂PGが「委員会の役割と責務」について講演の後、委員会別バズセッションが行われ、その後、岡部GEの「クラブ研修リーダーの必要性について」の講演がありました。

2011-2012年度に向けた最初のセミナーで、RIテーマや地区方針が発表されたとあって、会長エレクト始め地区チームの皆さんの意気込みに満ちた真剣な眼差しがひしひしと感じられました。



# 2010~2011年度 IM第7組報告

大阪西南RC 会長 吉川 守  
IM実行委員会 委員長 小田 眞弘

テ ー マ：『愛あふれる世の中づくりのお手ぐいはロータリアンの基本姿勢です。』  
— 気をつけよう近隣・社会、そして新世代へ！

ホ ス ト：大阪西南RC

日 時：2011年4月2日(土) 10:30~14:00

場 所：大阪国際会議場 12階

参加クラブ：大阪フレンドRC、大阪本町RC、大阪御堂筋RC、大阪南RC、大阪難波RC、大阪なにわRC、  
大阪南西RC、大阪船場RC、大阪心斎橋RC、大阪うつぼRC、大阪西南RC

出 席 者：岡部泰鑑GE、田中壽秋AG(第7組)、岩田宙造PG、大谷透PG 計181名

3月11日に発生した東日本大震災の直後の開催となり、開催するか否かを心配しましたが、松本新太郎Gをはじめ関係者でご協議を頂き、その結果、予定通り開催することとなりました。被災地の状況に鑑み、できるだけ簡素で、かつIM本来の目的を達する様なIMにすることを参加11クラブにもご理解を得、ご協力を頂き、又、もし残金が出れば、被災地にロータリー財団を通じて義援金をお届けすることと致しました。

さて、IM第7組は「愛あふれる世の中づくりのお手ぐいはロータリアンの基本姿勢です 気をつけよう近隣・社会 そして新世代へ!」をテーマとしました。今年より5つ目の奉仕活動として加わった新世代奉仕をベースに定めました。

IMは定刻にGの点鐘で始まりましたが、残念ながら松本新太郎Gは健康上の理由で欠席され、ご出席の岡部泰鑑GEが急遽松本Gに代わって主宰を務めて頂きました。紙上をかりて改めてお礼を申し上げます。

引継いでの講演は、日本を代表するラグビー選手の一人であり、現在も若者の指導にあたっておられる大八木淳史氏を講師に招き、「今、子供たちは危ない—地球ネットワークにおける青少年育成の構築—」の演題で講演を頂きました。期待通り、豊富な指導経験をもとに、熱く語って頂きました。

昼食後テーブルディスカッションに移り、テーマは、

①健全な次世代青少年をいかに育むか

いじめ、育児放棄に我々はいかに対処すべきか。

②安心できる地域社会づくり

東日本大震災に我々ロータリアンは何をすべきか。阪神大震災、今回の東日本大震災の経験則を踏まえ、我々は準備をいかに行なっておかないと危険であるか。

の2点として参加者全員でディスカッションを行いました。特に東日本大震災直後ということもあり、その対応と被災地への援助などで、熱心に意見を交換して頂きました。

そのあと閉会式に移り、田中壽秋AGにより所感と次いで次年度ホストクラブの紹介を頂きました。次年度は大阪難波RCが担当し、会長の山田誠一氏より挨拶があり、岡部GEの閉会の挨拶、続いて、岡部GEによる点鐘で無事、予定通りIMを終了することが出来ました。

最後になりましたが、当日ご出席頂いた岡部GEをはじめPGの皆様、そして準備段階よりお世話になりました田中AG、地区の皆様、そして11クラブの幹事の皆様のご指導、ご協力に心よりお礼を申し上げますと共に当日ご参加の皆様にも厚くお礼を申し上げ報告といたします。



数日前の天気予報では、当日(4月16日)は曇天で一  
時雨との事で、ご出席頂きます皆様にご迷惑をおかけす  
ると心配していましたが、その心配は全く無く、胸を撫で  
下ろした次第でした。

当日、主宰者の松本新太郎G様が、急遽ご体調を崩  
されましたので、GE岡部泰鑑様にお出まし頂き、RI第  
2660地区第1組のインターシティー・ミーティングを開  
催させて頂きました。この書面で失礼とは存じますが、  
松本G様の一日も早いご快癒を念じています。

当日は基調講演のみとさせて頂きましたが冒頭に、去  
る3月11日の東日本大震災で死者・行方不明者27,000  
人を超す未曾有の被害者に黙祷を捧げ、併せて一日も  
早く被災地の復旧、復興を念じました。

また、福島第一原子力発電所事故の一刻も早い収束  
と事後処理を円滑に進めて頂きたく、全員心を一つに致  
しました。

そして、いよいよ本日のメインであります基調講演へと  
移りました。我が国は少子高齢化が急速に進み、健康  
で健やかに老いることの願いが叶わないのが現状です。  
そして、老人の死後処理もせず、年金を詐取する荒んだ  
世の中、そして老人介護等、心を痛める切実な問題に直  
面しています。

当日は、そんな中で、介護にスポットを当て、何かのヒ  
ントを与えて戴きたく、実体験に立って『支える側が支え  
られる時』サブタイトルとして「認知症の母が教えてくれ  
たこと」と言う事で、認知症の母親に寄り添いながら、命  
や認知症を題材に多くの作品を作り続けられ、また講演  
活動を行っておられます、児童文学作家「藤川幸之助先

生」をお迎えして、講演をたっぷり2時間、休憩タイムを  
とらずに語って頂きました。先生は多くの詩集を出版さ  
れておられ、NBC長崎放送が制作した「マザー・詩人  
藤川幸之助が綴った母との瞬間」が民間放送連盟賞最  
優秀賞を受賞され、文化庁芸術祭参加作品となる等、  
ご活躍されただけあって、感銘しながら参加者一同、胸  
を熱くして拝聴いたしました。

認知症の人を受け入れるという行為、人生を理解す  
るという事、痛みを自分の事として感じる事から始まっ  
て、母への葛藤、戸惑いに蓋をせず、吐き出す事、そして  
何より相手の変わるのを待つのではなく、自分から変え  
ていかねばという事など、喋ることもない、いや出来ない  
母に愛を込めて接し、愛を込めて行動することで、愛の  
支えがどんなものなのかと、時には目頭が熱くなるような  
詩の朗読を拝聴し、出席者一同、大いに感じるところが  
あったのではないのでしょうか。

最後に、人を支えるということは、人に支えられること  
を結びとして、講演を終えられました。

参加者の皆様は、2時間余の間、殆ど中途退席なく、  
熱心に拝聴されておられた姿に、実り多いIMだったと  
自負しております。有難うございました。

本当に皆様のご協力に感謝感激し、お礼を申し上げます。

最後になりましたが、岡部GE様、高島GN様、池尻  
代表幹事様、そして第1組の会長様、会員の皆様のご協  
力、ご指導によりIMを終えることが出来、改めてお礼申  
し上げ、IMの報告と致します。



東日本大震災の犠牲者に哀悼の意と、被災者の方々に心よりお見舞い申し上げます。

この企画は三つの目的からスタートしました。一つ目は「若者が日本のこと、大阪のことをあまりにも知らなさ過ぎる」ことへの反省。グローバル化が進む中、外国人を相手にコミュニケーションをとったり、ビジネスする機会がますます増えていきます。その時に最も必要なものは何でしょうか？ 勿論、外国語を学ぶことは重要ですが、それ以上に重要なのは自分の国・地域についての誇りと知識です。何故なら世界では自分の国・地域のことを知らない人間は信用されないし、自らの国や地域に誇りを持たない者は絶対に尊敬されることなどありません。だからこそ若者たちは日本・大阪の良さを学ぶべきなのです。

二つ目は「一流の人、一流のモノに触れよう」。現代社会には、真贋の見分けのつきにくいことがたくさんあります。そんな混沌とした時代を生き抜くためには、ブレない確かな目を持たなければなりません。一流の人、モノに触れることで、自然に自分の中に正しい判断のモノサシができてくるのです。

三つ目は「RACのことをもっと一般市民の方々に知ってもらいたい」。そのためにはRACがどのような活動をしているのかを、一般市民の方々に共に汗を流し感じてもらうことです。

そういった観点から、一日目は昔遊びと大阪料理を体験し、昔の大阪の遊び・大阪の食文化の素晴らしさを実感してもらいました。ウェルカムパーティーでは「いけばな」を観、ポップな感覚での手作りファッションショーを体験、日本のおもてなしの心と日本の服装文化の素晴らしさを実感していただきました。

二日目は、大阪文化といえば、上方落語。その中でも囃し手をはじめとした裏方の活動をクローズアップしながら落語（英語字幕付き）を堪能し、言葉文化の素晴らしさを実感。午後からは、世界を代表する建築界の巨匠である安藤忠雄氏から、多くの一般市民の方々と、日本建築文化の素晴らしさ、若者への熱いメッセージを聞きました。

最後に大阪の街を参加者全員でクリーンハイクすることで、多くの一般市民の方々にRACの活動を知ってもらい、大阪人としての誇りを取り戻してもらいました。

このシンポジウムを通して、より多くの若者が日本・大阪のことをよりよく知り、好きになることで、自らの国や地域への誇りを持つようになり、また大阪の生んだ天才建築家から一流の素晴らしさと、大阪の未来への情熱を肌で感じ、多くの一般市民にRACのことを知ってもらえたことだと確信します。

寝る間も惜しんで取り組んでこられたたくさんのローターアクタ

ー達、そしてそれを陰で支えて頂いた多くのロータリアンに心より感謝し、このシンポジウムで学んだ若者の思いと元気が被災地に届き、被災された人達が癒され、一日も早く復興されることを祈念します。

プロジェクト実行委員長 **伊勢森 慶子**  
(パストRA代表)  
(大阪梅田ローターアクトクラブ)

桜が少しずつ花を咲かせる頃、中之島の中央公会堂で国際ロータリー第2660地区ローターアクト奉仕プロジェクト『ええで、VIVA 大阪!!～若者による日本文化シンポジウム～』を開催しました。コンセプトとして、私達が活動の拠点としている『大阪』の魅力、そして『日本文化』の魅力を伝え広めていく、同時に一般市民の方々に私たちの活動を知って頂く、この二点を目的としました。

初日は2つのグループを作り、日本料理や大阪ならではの食文化を学び、実際に料理体験をするチームと、剣玉や百人一首、紙飛行機などの昔遊びを体験するチームとに分かれ、笑顔あふれる体験をして頂きました。夜のウェルカムパーティーでは、日本文化の象徴である生け花パフォーマンスで幕開け。吉本興業の銀シャリにお越し頂き、大阪のお笑いをライブで披露して頂いた後は、私達ローターアクターで作り上げた、着物や武道、サブカルチャーのファッションショーをお楽しみ頂き、盛大なパーティーとなりました。

二日目は午前中に大阪の文化を代表する上方落語を、日本で英語落語の先駆者である桂小春團治様をお迎えし、英語の字幕付きでご覧頂きました。午後には今回の目玉プロジェクトとして、大阪が世界に誇る建築家・安藤忠雄様にお越し頂き「大阪の魅力を若者に伝える」をテーマに、一般市民の方々も招いての講演会を催しました。

ロータリアン、ローターアクター、OBOG、他地区のローターアクター、そして一般の方々、総勢800人をお招きしての講演会は、参加者の皆様に大変お喜び頂き、何よりも安藤様に「若者が多く楽しかった」と言ってもらえる事が出来、感極まる講演会となりました。

最後は、一般の方々も交えたクリーンハイク。軽トラック2台分のゴミを集め、参加者の皆様にローターアクトの魅力と活動を存分にPR出来たのではないかと思います。

今回このような大きなプロジェクトを無事に開催出来たのは、支えて頂いた地区ローターアクト委員会のロータリアンの皆様のお陰です。この誌をお借りして感謝申し上げます。

今後も私達ローターアクターはロータリーの精神を大切に、日々精進していく所存です。何卒よろしくお願い致します。



日 時：2011年4月11日(月) 16:30～19:30

会 場：ヴィアール大阪

参加者：米山奨学生、クラブカウンセラー、米山委員長、地区委員、米山学友会

今年度の米山奨学生として選考試験に合格した学生を対象に、最初の行事であるオリエンテーションが開催されました。まず始めに、東日本大震災の被災者への黙祷が捧げられ、有竹正巳地区米山奨学委員の司会で、岡部泰鑑がバナーエレクトの開会の挨拶を頂きました。

続いて、米山奨学制度について、磯田郁子地区米山奨学委員長より詳しく説明がありました。米山奨学事業はロータリーの誇るべき国際奉仕活動であり、その事業の要は“カウンセラー”です。奨学生の巣立った後も、カウンセラーには学友との絆を大切に続けていただきたい。学友からの便りや、社会人としてどんな人生を歩んでいるかなど、彼らの生活・活躍の様子をクラブ例会で報告してくださいと話されました。

次に、各テーブルにおいて、31名の奨学生と世話クラブのカウンセラー、米山委員長がお互いに自己紹介をし、カウンセラー・奨学生ハンドブックをもとに田中真人次年度米山奨学委員会副委員長より、奨学生の心得と制度の主旨説明、奨学生の役割、年間スケジュール等、奨学制度の詳細を分かりやすくパワーポイントを用いて説明が行われました。そして質疑応答の後、奨学生から「確約書」の提出があり、正式に「米山奨学生」となった

奨学生の喜びが緊張の中にも感じられました。

これで、第一部のオリエンテーションが終わり、会場を隣室に移して、岡部泰鑑がバナーエレクトの乾杯のもと、奨学生、世話クラブカウンセラー、米山委員長、地区米山奨学委員を交えての懇親会が和やかな雰囲気が始まりました。ユーモアたっぷりの有竹正巳委員の司会で、奨学生全員が「2分間スピーチ」で自己紹介。ロータリー奨学生に選ばれた喜び、ロータリー奨学制度への感謝、期待に応えたいという意気込み、将来の夢と希望を上手な日本語で話されました。日本語の途切れた合間は、かえって新鮮に感じられ、出席者の好感を呼んだようです。そこからは緊張もほぐれ、お互いに会話が弾んでいました。

林小微関西米山学友会前会長より、米山学友会活動は、学友(元米山奨学生)と奨学生の皆様がロータリアンとの交流を深め、ロータリーの国際交流・親善および平和の創造と維持に貢献することを目的としますと話され、締め括りには武島秀吉次年度地区米山奨学委員長から「米山奨学生に選ばれた誇りを持って、ロータリークラブと良い交流を心がけることです」との閉会の挨拶があり、オリエンテーションは無事終了しました。



## 石巻災害ボランティア

大阪御堂筋RAC3名・大阪中央RAC1名・吹田RAC1名・関大RAC4名・大阪御堂筋、吹田OG2名・チームライラ1名・RACメンバーの知人4名の合計16名で4月30日夜より石巻市に災害ボランティアに行きました。

5月1日昼、現地石巻入りし、ボランティアセンターが設置されている石巻専修大学のキャンパスへ向かうまでの道中、道路から見える景色の恐ろしい事と言ったら言葉では言い表せない感じです。そこら中に上下逆さまになった車が折り重なるように積み上がっていたり、津波ですべてが流され何も無い街並み。3月に茨城に行きましたがその状況を遙かに超えた惨事に目を背けたくなる思いでした。

ボランティアセンターの方の指示に従い集合場所に行き我々の作業内容が告げられました。その内容はドブ掃除です。

津波で流されたヘドロや瓦礫がドブに詰まって流れないので雨が降ると大変な事になるそうです。それを掃除し、少しでも流れやすくするのが我々に与えられた任務でした。

ドブの上の蓋を開けるとそれはもう耐えきれないぐらいの悪臭がします。ヘドロに下水が混じり真っ黒でドロドロした物が一面を覆っているのです。それをスコップですくって土嚢袋に詰めていくのです。このヘドロは水分も含んでいるのでかなりの重量があります。それを一輪車に乗せ1カ所に集めておくのです。そうすると夕方トラックが回収に来ます。

このような作業を3日間させて頂きました。

街の人達からは「ありがとう」「ご苦労様」と声を掛けて頂き、子供達は全員が「こんにちは」と挨拶をしてくるのです。ボランティアに行っているのになんかこっちが元気付けられているような感覚にもなります。

ボランティアセンターの方と非常に仲良くなり色々な話を聞いてきました。まず印象的だったのはマスコミの事でした。ゴールデンウィーク中はボランティアが殺到して断っている状態ですという報道があったと思います。他の所は知りませんが石巻で言うとゴールデンウィーク中のボランティアの人数はボランティアセンターが立ち上がって以来最少人数だそうです。予定人数の半分も来なかったのです。これに報道機関は責任が取れるのかと激怒しておりました。確かに断っていたボランティアセンターもあったでしょう。予想以上に人が来てしまった所もあったでしょう。ただ、そうでない所もあるのです。報道機関はもっと正確な情報を流して欲しいと思います。

現地に行ってみてまだまだ人手が足りないし、まだまだ時間がかかる事ははっきりとわかりました。本当に先の長いボランティアと支援が必要だと感じます。

最後になってしまいましたが、今回一緒に行った仲間は最高のチームでした。弱音を吐かず与えられた仕事をこなし、また、もっと効率のいいアイデアを出し非常に優れたチームだと思います。このメンバーでボランティアに行けた事を誇りに思います。



2011年4月8日、多くのロータリアンに尊敬された中川章三PGが90歳の生涯を終えられました。

1969年大阪西南、阪南、西北、城南の4クラブ合同チャーターナイトで祝福されて、Rtになった中川さんと私でした。同じ医師としてRで活躍することになりました。

数年が経過し、西北RCの武尾氏、西南RCの廣瀬氏、阪南RCの中野氏と同級生クラブから、Gが選出される結果となりました。順序からして、城南RCからGを出さないわけにはゆかない状況になって来ました。当クラブの大山会長が、Gの就任を引き受けても良いという事になり、小生に代表幹事の役を求められた。これでクラブとしての面目が立ったと全員で喜んだのも束の間で、大山会長が病で急逝されてしまった。クラブは混乱に陥り、誰が後任になるのか全く候補者の無い状態となったのでした。

全員が逃げ腰で、代表幹事としては、途方に暮れた毎日でした。順序で一人一人に当たっていった時、中川さんの番が廻ってきた時、色々と話をする内、彼の犠牲的精神が一言やってもよいとの答を出してくれたのではないかとと思っています。好んでやりたくはないが、何かやむにやまれぬ気持ちが起こりクラブの現状を考え引き受けられたのではなかったかと思っています。正に犠牲的精神の発露だと感じています。

Gの仕事は、自分の事だけでは済まされない特別な環境で、家庭を犠牲にせねばならない事も多々ある事は、十分認識してかからなければならない。こんな事を思うと中川さんの行動は正にserve above self と云うことではないかと、今更ながら頭の下る思いです。

早速G研修で渡米され、みっちりと修練され帰国後は、不慣れなため色々苦労された事を思い出します。当時は今と違ってGが代わる度に事務員も代わり、酷い時には全員が未経験者の事もあり、事務局は一代毎に代わり、Gが雇用せねばならなかった。事務長の仕事はGと代表幹事がすることになり、仕事に忙殺されるのである。中川Gは慣れないのに、事務的な文書に一枚一枚目を通し、直接指示され事務員のエラー、Rtからの苦情等一手に引き受けられた。寡黙で勤勉なGでありました。

PGになられてからは、家内に迷惑をかけた分を取り返すのだと、女房孝行をされて居られたのを拝見し、彼の優しい反面を見せられた思いがします。体調も良かったのに、風邪がもとで肺炎を併発され急逝され、本当に残念でなりません。永いロータリーライフ、御苦労様でした。どうぞ安らかに眠りください。

合 掌



## 中川 章三 会員

- ・生年月日 大正11年6月16日
- ・学 歴 1945年 3月 大阪高等医学専門学校卒業  
12月 大阪高等医学専門学校および  
大阪医科大学小児科教室助手
- ・職 歴 1960年 12月 医学博士学位記授与(大阪市立医科大学)
- 1952年 5月 南大阪病院小児科長
- 1959年 7月 大阪市立城北市民病院 小児科医長
- 1964年 4月 大阪市立城北市民病院 小児科科長
- 1976年 4月 大阪市立十三市民病院 小児科科長
- 1982年 4月 大阪市立十三市民病院 第2診療部長
- 1983年 6月 大阪市定年退職  
7月 協和会加納・北大阪病院小児科部長
- 1985年 10月 関西女子短大 講師
- 1994年 12月 協和会病院、関西女子短大 退職
- ・賞 1964年 大阪市医学会 市長賞  
表彰「砒素中毒についての研究」
- ・ロータリー歴 1969年 5月30日 大阪城南RC チャーターメンバー  
1971～1973年度 理事(国際奉仕委員長)  
1976～1977年度 幹 事  
1981～1982年度 会 長  
1987～1988年度 理事(社会奉仕委員長)  
1987～1988年度 IGFフォーラム委員長  
1996～1997年度 国際ロータリー第2660地区ガバナー

# 米山奨学委員会・ロータリー財団

## 地区米山奨学委員会より

2011年3月末	全国寄付金合計額	1,102,837,740円 (前年度比 2.12%減)
〃	第2660地区寄付金合計額	63,495,445円 (前年度比 3.20%減)
2011年3月末	全国寄付合計トップ10	
1. 第2650地区	79,426,233 円	6. 第2590地区 57,231,600 円
2. 第2750地区	64,168,053 円	7. 第2770地区 48,555,592 円
3. 第2660地区	63,495,445 円	8. 第2780地区 40,562,500 円
4. 第2760地区	59,593,608 円	9. 第2820地区 38,243,000 円
5. 第2580地区	59,458,855 円	10. 第2640地区 37,808,920 円

## 米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。  
(2011年3月)

氏名	回数	クラブ名
畑田 豊	5回目	大阪城南RC
野中 一彦	8回目	大阪城南RC
佐々木正治郎	4回目	大阪城南RC
中山 浩志	2回目	大阪城南RC
新谷 裕之	3回目	大阪城南RC
柳瀬 寛之	2回目	大阪城南RC
安村 史郎	1回目	大阪城南RC
朝田 俊孝	4回目	大阪東南RC
木村 行雄	4回目	大阪東南RC
北村 佳久	1回目	大阪東南RC
三野 文男	5回目	大阪東南RC
中造 和夫	3回目	大阪東南RC
野崎 暎一	5回目	大阪東南RC
小田 泰清	2回目	大阪東南RC
陳 思乾	11回目	大阪淀川RC
山本 恵真	1回目	新大阪RC

## 米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。  
(2011年3月)

氏名	クラブ名
大阪東南RC	26回目

## ロータリー財団 ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2011年)

富山 博光	八尾中央RC	3/ 4
山本 与志弥	八尾中央RC	3/ 4
相原 克偉	大阪梅田RC	3/11
池田 佳弘	大阪梅田RC	3/11
神寶 敏夫	大阪梅田RC	3/11
金延 宏明	大阪梅田RC	3/11
村上 稔	大阪梅田RC	3/11
山本 雅昭	大阪梅田RC	3/11
辻本 憲三	大阪RC	3/18

## ロータリー財団

## マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2011年)

篠原 耕一	1回目	大阪梅田RC	3/11
園 侯一	1回目	大阪梅田RC	3/11
内海 閑一郎	2回目	大阪梅田RC	3/11
清水 英文	2回目	大阪リバーサイドRC	3/11
新子 茂生	3回目	大阪なにわRC	3/31

## ロータリー財団 ベネファクター

次の方にベネファクターの称号が贈られました。  
(2011年)

山本 雅昭	大阪北RC	3/31
-------	-------	------

# 2011年4月度 会員数・出席報告

I M組	クラブ名	7月期初会員数	4月未会員数		入会者数累計	退会者数累計	増減	例会数	出席率	ホームクラブ出席率	I M組	クラブ名	7月期初会員数	4月未会員数		入会者数累計	退会者数累計	増減	例会数	出席率	ホームクラブ出席率
			全員	女性										全員	女性						
I M第1組	池田	39	39	3	2	2	0	4	68.95	62.88	I M第5組	大阪北梅田	47	50	4	3	0	3	4	78.00	66.00
	池田くれは	35	33	1	2	4	-2	4	88.83	85.38		大阪西	77	75	0	5	7	-2	4	87.66	80.85
	箕面	31	28	1	0	3	-3	4	79.38	74.21		大阪大淀	47	54	0	10	3	7	4	84.95	74.76
	箕面中央	23	23	0	0	0	0	4	86.36	75.72		大阪リバーサイド	34	36	5	4	2	2	4	88.97	75.49
	豊中	47	44	3	3	6	-3	3	91.97	83.90		大阪西北	56	55	0	2	3	-1	4	89.46	76.25
	豊中南	40	35	1	0	5	-5	3	84.30	75.74		大阪そねざき	49	46	29	0	3	-3	4	84.78	84.78
	豊中-大阪国際空港	20	21	0	1	0	1	4	72.86	63.10		大阪梅田	43	38	0	1	6	-5	4	82.26	79.32
	豊中千里	38	36	2	1	3	-2	4	88.57	82.00		大阪梅田東	36	36	0	1	1	0	3	79.62	58.33
	小計	273	259	11	9	23	-14		82.65	75.37		大阪ユニバーサルシティ	27	27	2	1	1	0	4	85.58	75.96
													小計	676	690	47	51	37	14		85.66
I M第2組	茨木	24	25	4	2	1	1	4	94.55	90.48	I M第6組	大阪	251	262	0	28	17	11	4	77.40	60.72
	茨木東	42	41	4	1	2	-1	4	89.72	72.54		大阪東	117	120	0	6	3	3	3	94.22	80.18
	茨木西	27	29	6	2	0	2	4	91.38	80.18		大阪東淀ちゃやまち	33	34	3	1	0	1	4	84.45	76.24
	千里	43	43	0	1	1	0	4	92.44	79.90		大阪城東	47	50	6	4	1	3	4	77.69	73.06
	千里メイプル	25	26	2	1	0	1	4	90.20	79.41		大阪中之島	27	27	1	3	3	0	4	96.29	78.70
	摂津	39	41	2	3	1	2	4	89.57	79.76		大阪大手前	39	40	3	1	0	1	4	85.29	69.04
	吹田	61	61	6	3	3	0	4	95.71	90.15		大阪城北	60	58	2	2	4	-2	4	77.65	76.04
	吹田江坂	42	40	3	0	2	-2	4	95.91	82.25		大阪天満橋	68	66	0	0	2	-2	4	87.10	82.23
	吹田西	48	50	1	2	0	2	4	100.00	92.47		大阪鶴見	36	36	0	1	1	0	4	79.10	74.58
	高槻	44	48	3	9	5	4	4	91.89	86.05		大阪淀川	33	34	2	2	1	1	4	91.17	79.02
	高槻東	39	39	0	0	0	0	4	94.38	94.38		新大阪	37	37	0	2	2	0	4	80.41	71.62
	高槻西	24	23	0	0	1	-1	4	96.25	91.25		小計	748	764	17	50	34	16		84.62	74.68
	小計	458	466	31	24	16	8		93.50	84.90											
I M第3組	大東	44	44	0	0	0	0	3	99.24	96.97	I M第7組	大阪フレンド	15	16	4	1	0	1	4	92.86	73.90
	大東中央	30	31	12	1	0	1	4	77.69	72.16		大阪本町	25	27	2	2	0	2	4	81.52	62.15
	枚方	42	44	0	5	3	2	4	94.90	86.05		大阪御堂筋	37	36	0	0	1	-1	3	86.27	76.47
	門真	26	32	4	6	0	6	4	90.63	79.69		大阪南	125	137	0	14	2	12	4	81.71	74.56
	交野	28	33	1	5	0	5	4	95.80	88.54		大阪難波	47	44	0	4	7	-3	3	92.60	74.24
	香里園	17	17	0	1	1	0	4	82.35	76.47		大阪なにわ	32	30	2	2	4	-2	4	80.54	73.73
	くずは	56	58	0	5	3	2	3	69.97	61.23		大阪南西	19	18	4	0	1	-1	4	83.77	74.14
	守口	39	47	3	9	1	8	4	86.62	75.00		大阪西南	89	88	13	5	6	-1	4	98.78	76.42
	守口イブニング	27	26	4	0	1	-1	4	80.77	73.08		大阪船場	42	41	0	1	2	-1	4	96.00	83.00
	寝屋川	39	40	5	3	2	1	4	87.50	81.88		大阪心斎橋	37	39	0	2	0	2	4	96.02	86.49
	四條畷	12	12	0	0	0	0	3	78.79	69.70		大阪うつば	34	36	4	2	0	2	4	91.55	86.13
	小計	360	384	29	35	11	24		85.84	78.25		小計	502	512	29	33	23	10		89.24	76.48
	I M第4組	東大阪	70	67	0	2	5	-3	4	85.28		77.53	I M第8組	大阪阿倍野	15	14	1	0	1	-1	4
東大阪中央		38	39	0	3	2	1	4	91.43	87.83	大阪平野	37		37	3	3	3	0	3	95.44	84.47
東大阪東		67	65	6	0	2	-2	4	87.83	71.82	大阪イブニング	21		19	5	0	2	-2	4	78.95	69.74
東大阪みどり		26	27	1	1	0	1	3	87.65	69.14	大阪城南	54		56	0	4	2	2	4	100.00	94.25
東大阪西		37	37	0	0	0	0	4	94.30	69.70	大阪咲洲	19		19	1	1	1	0	3	91.23	63.15
大阪柏原		30	31	3	2	1	1	4	88.80	88.80	大阪住之江	22		21	0	0	1	-1	4	95.45	79.38
大阪ネクスト		18	18	6	0	0	0	4	51.50	33.00	大阪住吉	28		28	3	1	1	0	4	88.57	70.96
八尾		84	80	0	0	4	-4	4	98.49	70.93	大阪天王寺	60		62	0	4	2	2	4	95.10	87.04
八尾中央		21	22	3	1	0	1	3	88.89	79.37	大阪東南	52		52	0	3	3	0	4	94.23	71.15
八尾東		26	24	3	1	3	-2	4	63.14	62.05	小計	308		308	13	16	16	0		91.42	76.04
小計		417	410	22	10	17	-7		83.73	71.02											
I M第5組	大阪中央	57	54	6	2	5	-3	4	93.12	79.55	合計	クラブ数	7月期初会員数	4月未会員数	入会者数累計	退会者数累計	増減	平均出席率	平均出席率		
	大阪堂島	28	31	1	3	0	3	4	89.52	78.23		84	3742	3793	199	228	177	51	87.1	76.4	
	大阪北	175	188	0	19	6	13	4	83.96	68.77											

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2 万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の

出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

## ガバナー月信を中心に新着の資料から

「ロータリーから、あなたへ。(2000年国際協議会講演より)」

リチャード・キング 2011 2p (D.2500月信)

「魅力的なロータリークラブ」北 清治 2010 4p (D.2530地区協議会記録)

「ロータリーの源流」田中 毅 2011 21p (D.2640月信)

「ベンジャミン・フランク・コリンズのスピーチ原稿について」成川守彦 2011 4p (D.2640月信)

「ロータリーの基本精神——寛容と奉仕の心」上野 操 2011 1p (D.2580月信)

「出会いの不思議と面白さ」渡辺好政 2011 2p (D.2500月信)

「『ノーブレス・オブリージュ(高貴なる者の義務)』について」

織田吉郎 2011 1p (D.2790月信)

「青少年はロータリーの継承者」若林洋一 2011 9p (D.2710地区大会特集号)

「CLP導入しました」天神正人 2011 2p (D.2500月信)

[申込先：ロータリー文庫(コピー/PDF)]

## 震災に関して

「その時ロータリーは… 阪神・淡路大震災第2680地区の記録」1995 107p (D.2680)

[申込先：ロータリー文庫(コピー)]

「震度7それでもわが大地を愛す(新潟県中越大震災復興支援活動の記録)」

2005 48p (D.2560) [申込先：ロータリー文庫(コピー/PDF)]

## ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館 = 午前10時~午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

## 東日本大震災の義援金(第2回送金)

5月10日に義援金の第2回送金分10,669,292円をガバナー会に送金いたしました。

## 布団セット寄贈プロジェクト

第2520地区ガバナーから支援要請がありました布団セット寄贈プロジェクトは、皆様の温かいご支援のおかげで1,487,200円(104セット)の募金が集まりました。4月14日に84セットを岩手県久慈市、5月20日に20セットを宮城県気仙沼地域に送りました。

ご支援ご協力に心より感謝申し上げます。

国際ロータリー 第2660地区 ガバナー 松本 新太郎  
社会奉仕委員会 委員長 表 寛治

「お詫びと訂正」 月信5月号 11ページに間違いがありました。お詫びして訂正いたします。

八尾RC 新住所

(誤) 〒581-0116 八尾市清水町1-6-6 八尾商工会議所 208号室

(正) 〒581-0006 八尾市清水町1-1-6 八尾商工会議所 208号室

八尾中央RC 新住所

(誤) 〒581-0116 八尾市清水町1-6-6 八尾商工会議所 207号室

(正) 〒581-0006 八尾市清水町1-1-6 八尾商工会議所 207号室

「お知らせ」 豊中千里RC メールアドレス変更

新メールアドレス：info@toyonakasenri-rc.main.jp

---

---

敬 弔 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

鎌倉 利行 会員 (大阪中央RC) 2011年 4月24日逝去 (享年81歳)

会長、副会長、理事

米山功労者、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、ベネファクター

谷岡 正夫 会員 (大阪城東RC) 2011年 4月25日逝去 (享年67歳)

会長

会員選考委員長、職業分類委員長、出席委員長

米山功労者、ポール・ハリス・フェロー、ベネファクター

榎谷 忠治 会員 (吹田西RC) 2011年 5月 7日逝去 (享年77歳)

会長、幹事、理事

社会奉仕委員長、SAA、会員増強委員長、交通問題特別委員長

米山功労者 (マルチプル)、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

野崎 弘毅 会員 (大阪西南RC) 2011年 5月11日逝去 (享年72歳)

社会奉仕担当理事

出席委員長、会報委員長、青少年委員長、世界社会奉仕委員長

米山功労者 (マルチプル)、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

## 月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿（写真付きの場合は一緒に添えて）を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布いたします。また、ご希望の会員には有料（年間2,200円・1冊200円）配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

### 月信編集委員会

- ・ガバナー 松本新太郎
- ・地区代表幹事 池尻 誠
- ・地区副代表幹事 吉本 憲司
- ・担当地区幹事 小山 悦治
- ・担当地区幹事 笠井 実
- ・担当地区幹事 奥谷 英一
- ・事務局長 今井 貢二

## 2010～2011年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所ご案内】

### ●事務局スタッフ

ガバナー	松本新太郎
地区代表幹事	池尻 誠
地区副代表幹事	吉本 憲司
事務局長	今井 貢二
事務局員	栗正 久美
	春名 志保
	大西 麻容

### ●休 日

土曜、日曜、祝日  
夏期  
2011年 8月12日(金)～  
2011年 8月17日(水)  
年末年始  
2011年12月29日(木)～  
2012年 1月 4日(水)

### ●所在地・電話・ファックス

〒541-0052  
大阪市中央区安土町1-5-11  
トヤマビル東館 6階  
TEL：06-6264-2660  
FAX：06-6264-2661

ガバナー事務所に会議室を併設いたしております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

### ●ホームページアドレス

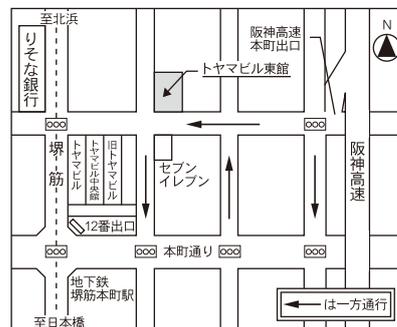
<http://www.ri2660.gr.jp/>

### ●メールアドレス

[gov@ri2660.gr.jp](mailto:gov@ri2660.gr.jp)

### ●勤務時間

9：30～17：00



※地下鉄堺筋線 堺筋本町駅 12番出口すぐ

## 国際ロータリー第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F  
電話 06-6264-2660 Fax 06-6264-2661 E-mail:gov@ri2660.gr.jp

## ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

6 F Toyama Bldg, East 1-5-11 Azuchi-machi Chuo-ku OSAKA 541-0052 JAPAN  
Phone. +81-6-6264-2660 Fax. +81-6-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp